



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地  
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065  
URL <http://www.fuku.co.jp/>



C906

福島印刷株式会社  
証券コード 7870



ふくしまみちお  
代表取締役社長 福島理夫

## 営業の概況

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第54期中間期（平成17年8月21日から平成18年2月20日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加や雇用情勢の持ち直しなどから個人消費に拡大の兆しが見えてくるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

印刷業界におきましては、企業のネットワーク化に伴う需要量の減少、調達手段の多様化による価格下落が進行しましたが、個人情報保護法関連商品の需要量の増加などにより、全体としては概ね順調に推移しました。

このような状況の中で、当社は量産型DM（ダイレクトメール）加工設備を新設し、市場ニーズに対応した企画提案活動を推進、独自技術による「ならでは」商品と「ならでは」サービスの拡販に努めてまいりました。具体的には新設のDM加工設備の早期立ち上げに注力し、新商品の「A4ブックUD（ユニバーサルデザイン）メール」、個人情報保護対応の「情報保護シール付はがき」、環境に配慮した「あと糊はがき eco」

などの販売促進に取り組むとともに、財産化商品による受注の継続性向上、ソリューション提案型商談スタイルの追求に努めてまいりました。

また、生産、開発面では、独自技術による高付加価値商品の開発と生産効率の改善に向けたローコストオペレーションを推進し、企業体質の強化と経営の効率化を図ってきました。さらに、ブランディング部門を新設し、プロセス全体を保証する品質保証体制の強化と全社全業務でのセキュリティ体制の更なる進化を図り、企業ブランド力と企業信頼の拡大に向けて注力してまいりました。

その結果、当中間期の売上高は、前年同期を1億21百万円（4.5%）上回る28億10百万円となりました。また、利益面においては、商品構成の多様化等に伴う人員、開発、設備の先行投資などにより、経常利益は前年同期を53百万円（52.7%）下回る47百万円、中間純利益は前年同期を27百万円（54.1%）下回る23百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、企業業績の改善や設備投資の増加、個人消費の回復など景気は回復基調にあるものの、原油価格の高騰などによる材料費の価格上昇が懸念され、予断を許さな

い経営環境が続くものと予想されます。

印刷業界におきましても、ネットワーク化に伴う紙媒体から電子媒体への需要構造の変化や調達手段の多様化、競争の激化などにより、引き続き厳しい市場環境が続くものと考えられます。

このような状況を踏まえ、当社は本年7月本社隣接地に新工場を竣工し、それを機により一層市場ニーズに対応した企画提案活動を推進し、独自技術による商品ラインナップとサービスの拡充に努めてまいります。

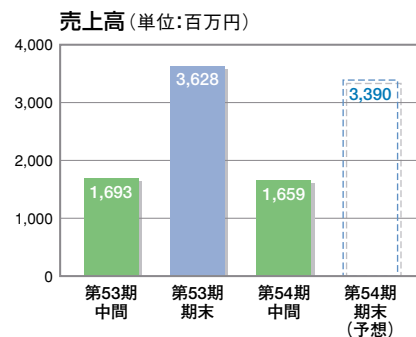
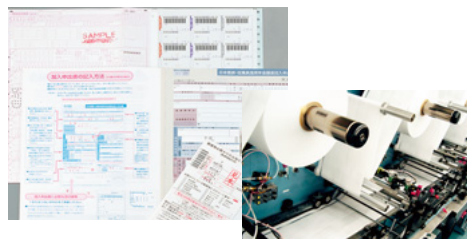
生産、開発面では市場ニーズに迅速に対応した新商品の研究開発と事業活動全般にわたる効率化、合理化を積極的に推進し、企業体質の強化と経営の効率化を図ってまいります。また、プロセス全体を保証する品質保証体制と全社全業務での情報セキュリティ体制のより一層の進化を図り、企業信頼の拡大に取り組み、全社一丸となって業績向上に努めてまいる所存であります。

なお、通期の業績予想といたしましては、売上高57億60百万円、経常利益1億88百万円、当期純利益1億7百万円を見込んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

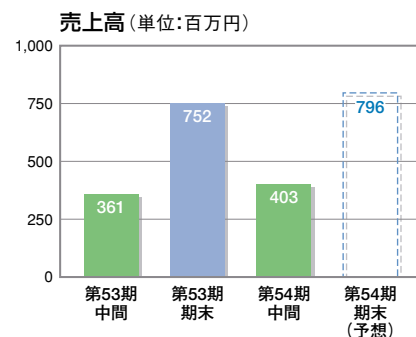
## ビジネスフォーム関連

お客様の業務の合理化、簡素化に伴う需要量の減少により前年同期を下回りました。当社独自技術のプライバシー保護を目的とした「情報保護シール付はがき」関連商品や事務通信DPS（データプリントサービス）が好調に推移したものの、売上高は前年同期を34百万円（2.0%）下回る16億59百万円となりました。



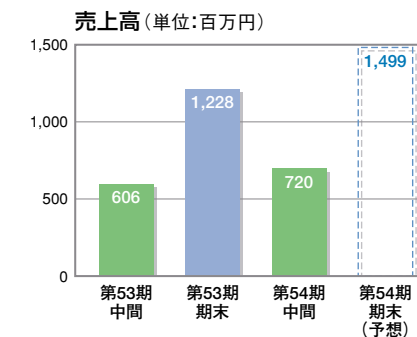
## カラー・文字物関連

企業業績の回復傾向が続く中、積極的な販売活動を推進した結果、売上高は前年同期を41百万円（11.5%）上回る4億3百万円となりました。



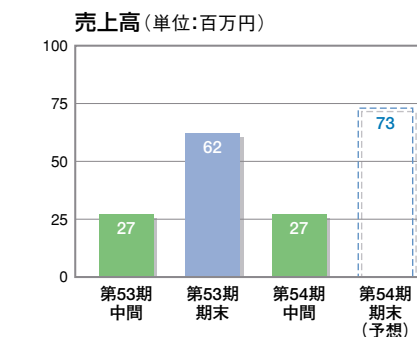
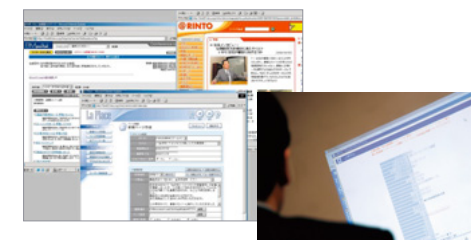
## DM・DPS関連

プライバシー保護や情報セキュリティ強化のニーズに対応したDM（ダイレクトメール）、お客様のデータをお預かりし印刷物に出力するDPS業務が堅調に推移しました。その結果、売上高は前年同期を1億13百万円（18.7%）上回る7億20百万円となりました。



## ビジネスマルチメディア関連

ホームページ、電子カタログ等商品DB（データベース）関連等Web関連商品の拡販に努めた結果、売上高は前年同期とほぼ同額の27百万円となりました。





■ 中間貸借対照表

科 目	単位：千円	
	当中間会計期末 (平成18年2月20日)	前中間会計期末 (平成17年2月20日)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>1,849,990</b>	<b>2,003,143</b>
現金及び預金	325,198	452,560
受取手形	402,749	426,718
売掛金	730,249	784,979
たな卸資産	303,248	278,126
繰延税金資産	86,064	65,040
その他	4,407	4,556
貸倒引当金	△ 1,926	△ 8,837
<b>固定資産</b>	<b>3,296,504</b>	<b>3,130,601</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,001,113</b>	<b>2,808,146</b>
建物	963,958	983,958
機械及び装置	705,285	758,655
土地	965,106	970,756
その他	32,386	94,775
建設仮勘定	334,376	—
<b>無形固定資産</b>	<b>9,572</b>	<b>29,057</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>285,819</b>	<b>293,397</b>
投資有価証券	149,613	129,580
その他	140,456	167,539
貸倒引当金	△ 4,250	△ 3,722
<b>資産の部合計</b>	<b>5,146,495</b>	<b>5,133,745</b>

科 目	単位：千円	
	当中間会計期末 (平成18年2月20日)	前中間会計期末 (平成17年2月20日)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,307,066</b>	<b>1,182,918</b>
買掛金	233,098	210,059
短期借入金	540,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	220,000
未払法人税等	43,179	77,508
賞与引当金	106,039	100,509
その他	284,748	254,842
<b>固定負債</b>	<b>235,353</b>	<b>384,187</b>
長期借入金	—	105,208
繰延税金負債	50,340	22,371
退職給付引当金	131,485	198,167
役員退職慰労引当金	53,527	58,440
<b>負債の部合計</b>	<b>1,542,419</b>	<b>1,567,106</b>
<b>【資本の部】</b>		
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
資本準備金	285,200	285,200
<b>利益剰余金</b>	<b>2,834,130</b>	<b>2,806,505</b>
利益準備金	96,200	96,200
任意積立金	2,677,153	2,617,153
中間未処分利益	60,777	93,152
その他有価証券評価差額金	24,745	14,932
<b>資本の部合計</b>	<b>3,604,075</b>	<b>3,566,638</b>
<b>負債及び資本の部合計</b>	<b>5,146,495</b>	<b>5,133,745</b>

(記載金額は千円未満切捨)

■ 中間損益計算書

科 目	単位：千円	
	当中間会計期間 (自平成17年8月21日 至平成18年2月20日)	前中間会計期間 (自平成16年8月21日 至平成17年2月20日)
<b>【経常損益の部】</b>		
<b>営業損益の部</b>		
<b>営業収益</b>		
売上高	2,810,635	2,689,395
<b>営業費用</b>		
売上原価	2,111,499	1,950,009
販売費及び一般管理費	654,325	638,428
<b>営業利益</b>	<b>44,810</b>	<b>100,957</b>
<b>営業外損益の部</b>		
<b>営業外収益</b>	10,675	7,887
受取利息	294	394
その他	10,381	7,493
<b>営業外費用</b>	7,675	7,834
支払利息	5,258	5,566
その他	2,417	2,268
<b>経常利益</b>	<b>47,810</b>	<b>101,010</b>
<b>【特別損益の部】</b>		
特別利益	6,773	451
特別損失	8,220	2,879
<b>税引前中間純利益</b>	<b>46,364</b>	<b>98,582</b>
法人税、住民税及び事業税	38,000	73,000
法人税等調整額	△15,261	△ 25,923
<b>中間純利益</b>	<b>23,626</b>	<b>51,505</b>
前期繰越利益	37,151	41,646
<b>中間未処分利益</b>	<b>60,777</b>	<b>93,152</b>

(記載金額は千円未満切捨)

■ 中間キャッシュ・フロー計算書

科 目	単位：千円	
	当中間会計期間 (自平成17年8月21日 至平成18年2月20日)	前中間会計期間 (自平成16年8月21日 至平成17年2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,304	△ 79,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 217,535	△ 62,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 41,072	43,902
現金及び現金同等物の増加額	△ 55,302	△ 98,372
現金及び現金同等物の期首残高	281,460	386,593
現金及び現金同等物の中間期末残高	226,158	288,220

(記載金額は千円未満切捨)

■役員 (平成18年4月27日現在)

代表取締役社長	福島 理夫	取締役	三浦 隆弘
専務取締役	下 畠 学	取締役	古林 孝之
常務取締役	山 本 弘	常勤監査役	岩 見 隆
常務取締役	舘 芳 昭	監査役	中 野 弘 史
取締役	粟津 十志実		

■会社の概要

商 号	福島印刷株式会社
英 文 名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076) 267-5111(代)
設 立	昭和27年9月10日
資 本 金	4億6,000万円
発行済株式総数	6,000,000株
従 業 員 数	368名
事 業 所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 富山営業所 富山市上袋715番地1 福井営業所 福井市問屋町3丁目811番地 東京営業所 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 大阪営業所 大阪市中央区平野町3丁目3番8号 辻梅ビル3F 名古屋営業所 名古屋市中区金山1丁目2番2号 クマダ第2ビル5F

決 算 期	毎年8月20日
定 時 株 主 総 会	毎年11月
株 主 確 定 基 準 日	利益配当金 8月20日 中間配当を行う場合 2月20日
基 準 日	毎年8月20日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
貸借対照表掲載のホームページアドレス	<a href="http://webcms.mitanet.com/fukushima/ir_information/balance_sheet.html">http://webcms.mitanet.com/fukushima/ir_information/balance_sheet.html</a>

- 株 式 名 義 書 換
- ◎名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
  - ◎同事務取扱所 [郵便物送付先]  
[電話照会先]  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
証券代行事務センター(〒168-0063)  
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
  - ◎同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店  
(お知らせ)  
住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
●フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)  
●ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

1 単 元 の 株 式 数 100株  
上 場 証 券 取 引 所 名古屋証券取引所 市場第二部  
株 主 優 待 制 度 8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、3,000円相当の自社指定特産品4品から1品を、ご希望に応じて送付。

平成17年優待品



金沢五郎島金時



「高岡屋本舗」  
氷見糸うどん詰合せ



「あら与」  
ふぐ三味



「金沢ニューグランドホテル」  
評判のビーフカレー